

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立防災安全センター	所管課	消防防災課
所在地	(財)山梨県消防協会	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年4月1日
管理方式	指定管理者((財団法人山梨県消防協会 平成21年4月1日~平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立防災安全センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に、防災機器の展示・説明等により、防災知識の普及・啓発を行うこと。 出張講座等を通じて、県民に防災知識の普及・啓発を行うこと。 地域防災リーダーの養成を推進すること。		
主な施設内容 (定員等)	図書・相談室、訓練実習室、視聴覚室(120人)、展示・体験フロア、車庫・備蓄庫、機械室等		
主な業務内容	○防災安全センターの機能、展示品を活用した防災知識の普及啓発に関する業務 ○地域防災力の向上及び防災用資機材の使用方法等に関する研究 ○各種災害データの収集・分析 ○利用者アンケートの実施 ○施設、設備及び備品等の保守管理に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	類似施設無し
-------------------	--------

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	入館者数	3,538	3,088	3,881	
	出張講座受講者数	10,968	11,247	5,995	
	防災指導車体験者数	17,779	12,332	12,217	
	利用者数合計	32,285	26,667	22,093	
	目標値	27,000	27,000	26,800	26,800
	目標値設定の考え方	入館者数4,000人 出張講座8,000人 防災指導車 15,000人	入館者数4,000人 出張講座8,000人 防災指導車 15,000人	入館者数3,800人 出張講座8,000人 防災指導車 15,000人	入館者数3,800人 出張講座8,000人 防災指導車 15,000人
	対平成19年度比	100.0%	82.6%	68.4%	83.0%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	12,315,000	12,617,000	12,617,000	12,617,000
	その他				
	収入合計(A)	12,315,000	12,617,000	12,617,000	12,617,000
支出	人件費	8,362,000	8,200,000	8,748,000	8,748,000
	県への納付金				
	管理運営費	3,953,000	4,417,000	3,869,000	3,869,000
	(うち外部委託費)(B)				
	支出合計(C)	12,315,000	12,617,000	12,617,000	12,617,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		462	473	571	471

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~23年3月、実施方法:利用者へのアンケート 回答数:471人
-------	--

単位:%

調査項目	十分である	不十分である	わからない
①充実度	80.0%	5.0%	15.0%
②整備度	79.0%	6.0%	15.0%

調査項目	十分である	わかりにくかった
③展示説明	98.0%	2.0%

調査項目	満足	まあまあ満足	不満足
④満足度	81.0%	18.0%	1.0%

調査項目	また来たい	利用しない	わからない
④満足度	77.0%	2.0%	21.0%

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	来館者に不快な思いをさせない様、常に適切に管理している。	概ね管理業務計画書等のとおり業務は遂行されている。
運営業務	出張講座の体験事業をメインに防災対策の普及・啓発に努めている。	概ね管理業務計画書のとおり適正に業務は執行されている。
利用状況	入館者数は前年度実績を上回った。出張講座は回数で16件、受講者数で5,252人前年度実績を下回った。防災指導車体験者は前年実績を115人下回っているが利用日数では26日前年実績を上回っている。1件(日)当たりの利用者数が減少したため、前年実績を下回った項目があるが、概ね目標は達成したものとする。なお、防災指導車が年間を通して数回故障し、修理のため数日間稼働出来なかったことも、影響しているものとする。	防災指導車の故障等、不測の事態の発生により、体験者数の減はやむを得ないものと認められるが、引き続き、予約日程の調整やホームページの内容充実、積極的な働きかけなどにより、体験事業の実績向上に努められたい。出張講座受講者数は計画を下回ったが、件数の減少に対し利用者の減少が大きいのは、1回あたりの人数が少ないからであり、防災指導車については、利用者は微減しているものの、利用日数自体は増加しており、入館数の増加と併せて、評価できる水準にあると考えられ、防災対策に関する普及啓発について一定の成果をあげたものと見受けられる。 今後は、予約日程の調整やホームページの内容充実、積極的な働きかけなどにより、更なる利用者の増加等、実績向上に努められたい。
収支状況	人件費をはじめ義務的経費の比率が高い中で、各支出について点検し、経費の節減に努め対応している。	今後も、各支出について点検し、適正な事業計画の策定と、より一層の効率的な運営に努められたい。
利用者満足度	ほぼ全員の方が満足してくれたので、成果が出たものと評価する。	利用者の評価は良好であると判断される。新設備導入に伴い、アンケートの見直しの検討や、一層の回答数の増加に努め、今後も多くの利用者意識の把握に努め、サービス向上に役立てられたい。
運営目標の達成状況	出張講座において、小規模な団体に対して実施することが多かったなどの理由で利用総数自体は計画を下回ったものの、入館者は計画を上回っており、運営目標は概ね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ○現地確認を行ったところ、概ね業務は適正に実施されている。 ○利用者からの評価についても、良好である。 ○利用実績については、一部減少した項目があり、さらなる利用者の増加を図られたい。 ○収入に見合った経費削減に努めており、安定した経営が図られている。 ○業務改善に向けた分析等を参考に引き続き防災対策の普及啓発、利用者のサービスの向上、施設等の維持管理に取り組まれたい。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成22年度から施設を一部リニューアルし、利用者増加に向けた取り組みも成果を上げており、平成22年度の第一四半期の入館者数は、前年同期と比べ、約2倍となっている。 また、出張講座、防災指導車の利用も概ね順調であり、今後の防災に対する普及啓発活動にも期待ができる。	

7. 管理体制(組織図)

(財)山梨県消防協会事務局

